

平成23年2月2日

平成24年度（第27回）及び平成26年度（第29回） 国民文化祭の開催地内定について

国民文化祭の開催地について、平成24年度（第27回）を徳島県、平成26年度（第29回）を秋田県に内定しました。

なお、内定書交付式は、下記日程で文化庁長官室にて行います。

1. 国民文化祭の概要

「国民文化祭」は、国民一般の文化芸術活動を全国的規模で発表、競演、交流する場を提供することにより、文化活動への参加意欲を喚起し、新たな芸能・文化の創造を促すとともに、地域固有の文化の全国発信等を通じて地域の活性化・発展に寄与し、国民生活のより一層の充実に資することを目的としています。

2. 開催県の内定について

国民文化祭の開催地については、開催希望調査を実施し、開催希望のあった都道府県のうちから、文化庁長官が決定することになっています。本年度は、全都道府県に対し平成24年度及び平成26年度以降の開催について調査を行ったところ、平成24年度は徳島県、平成26年度は秋田県からそれぞれ要望があり、今般、内定を行うことになりました。

3. 内定書交付式

	日時	場所	出席予定者
秋田県	平成23年2月8日（火）9:30	文化庁長官室	佐竹 敬久（さたけ のりひさ）秋田県知事
徳島県	平成23年2月8日（火）16:30	文化庁長官室	飯泉 嘉門（いいずみ かもん）徳島県知事

<担当>文化庁文化部芸術文化課文化活動振興室
室長 門岡 裕一（内線 2830）
担当係長 南川 貴宣（内線 2832）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-2835（直通）

○ 国民文化祭開催地の内定

平成24年度（第27回）国民文化祭 開催地：徳島県

徳島県においては、平成19年度国民文化祭を開催したが、翌20年度より「文化立県とくしま推進事業」を展開し、国民文化祭の4大モチーフとして掲げた「ベートーヴェン第九」、「阿波人形浄瑠璃」、「阿波藍」、「阿波おどり」を平成20年度～23年度に順次テーマとして取り上げ全国に向けた事業を実施するなど、国民文化祭の開催を契機として、地域文化の更なる振興に積極的に取り組んでいる。

平成24年度国民文化祭においては、これまでの取組において、継承・発展させてきた成果を検証するとともに、その成果の集大成として全国的に発信することにより、昨今、いずれの地域においても求められている「地域の活性化」、「伝統の継承」、「人材の育成」等の課題の解決につながる新たな国民文化祭の在り方を提示する。

平成26年度（第29回）国民文化祭 開催地：秋田県

秋田県では、地域に根付く文化を守り育てるとともに、新たな価値創造を図るため、平成23年度を「文化」を再生し創造する元年と位置づけ、「あきた文化ルネサンス」を宣言。

秋田県の多彩な文化を担う団体が行う事業や後継者育成の充実・強化を図るとともに、若手アーティストの育成・支援を通じた地域のにぎわいの創出を目指し、様々な取組を行うことにしている。

その集大成として、平成26年度に国民文化祭を開催し、全国から参加者・来場者を集め、新たな秋田県の魅力を全国へ発信するとともに、人の交流によるにぎわいの創出を図り、県民の元気創造につなげていく。

参考：国民文化祭の開催実績及び開催県の内定状況

昭和61年度（第1回）東京都	平成14年度（第17回）鳥取県
昭和62年度（第2回）熊本県	平成15年度（第18回）山形県
昭和63年度（第3回）兵庫県	平成16年度（第19回）福岡県
平成元年度（第4回）埼玉県	平成17年度（第20回）福井県
平成2年度（第5回）愛媛県	平成18年度（第21回）山口県
平成3年度（第6回）千葉県	平成19年度（第22回）徳島県
平成4年度（第7回）石川県	平成20年度（第23回）茨城県
平成5年度（第8回）岩手県	平成21年度（第24回）静岡県
平成6年度（第9回）三重県	平成22年度（第25回）岡山県
平成7年度（第10回）栃木県	平成23年度（第26回）京都府（来年度開催）
平成8年度（第11回）富山県	平成24年度（第27回）徳島県（今回内定）
平成9年度（第12回）香川県	平成25年度（第28回）山梨県
平成10年度（第13回）大分県	平成26年度（第29回）秋田県（今回内定）
平成11年度（第14回）岐阜県	
平成12年度（第15回）広島県	
平成13年度（第16回）群馬県	

『おどる国文祭』5周年記念事業・とくしま2012(第27回国民文化祭)」(仮称)

徳島県

●平成19年度

第22回国文祭・
とくしま2007
(通称:おどる
国文祭)の開催

- ・ベートーヴェン「第九」
- ・阿波人形浄瑠璃
- ・阿波藍
- ・阿波おどり

●平成20年度～平成23年度

文化立県とくしま推進事業の実施(基金造成:2億円 取り崩し型)

「おどる国文祭」の成果の継承と発展

- ・4大モチーフ全国発信事業
- ・県下全市町村による推進事業
- ・次世代・後継者の育成

リニューアルした徳島県民文化祭の開催

・期間を3ヶ月間に延長し、『しあわせは』ふたたび(県内3カ所)などを開催

H20:ベートーヴェン「第九」アジア初演90周年記念コンサート

成果

- ・クラシック音楽の開催(H20～)によるまちづくり
- ・とくしま国民文化祭記念管弦楽団(仮称)の編成(H23～)による音楽文化のレベルアップ
- ・ジュニアオーケストラの結成(H20～)による後継者育成
- ・ホールボランティアスタッフチームの結成(H20～)による住民参加

H21:阿波人形浄瑠璃月間ジョーリ100公演

成果

- ・農村舞台復活公演(計12カ所)による過疎地域の活性化
- ・地域青年団の人形座旗揚げ(H21～)による後継者育成と地域の活性化
- ・県民公募による人形座の結成と公演(H18～)による伝統文化の底上げ
- ・人形浄瑠璃街道(阿波・淡路・西宮)の打ち出し(H21～)による広域交流・連携

H22:阿波藍×未来形プロジェクト

成果

- ・キャッチロゴ「阿波藍再考藍干」(阿波藍を年間干俵出荷への努力目標)設定による伝統産業の活性化
- ・阿波藍国際研修会の開催による韓国・台湾・フィリピンなど諸外国との国際交流
- ・「阿波藍×未来形プロジェクト展」の開催によるビジネスモデルの構築
- ・藍染ファッションショー、藍Tコンテストの開催による次世代への伝統文化継承

H23:萬の民の阿波おどり

成果

- ・ワークショップによる阿波おどりの歴史の再認識と伝統の検証、現在に息づく阿波おどりの未来への継承、徳島県民たる誇りと自信の創造
- ・「萬の民の阿波おどりフェスティバル」による阿波おどりの観光拡大

市町村事業

成果

- ・棒搦きの復活(H19～)による地域活性化(神山町)
- ・小島章司率いるフラメンコ(H19～)の継続による舞踊文化レベルの向上(牟岐町)
- ・文芸祭の開催(H19～)による文芸文化レベルの向上(東みよし町)など

課題
平成24年度以降
文化立県とくしま推進事業の継続

●平成24年度

『おどる国文祭』5周年記念事業・とくしま2012
(第27回国民文化祭)」(仮称)

コンセプト(方向性)

1. ポスト国文祭の成果の検証
2. その成果の集大成
3. 全国に発信

★4大モチーフを中心とした文化発信による地域づくり

- ・伝統芸能が息づくまちづくり
- ・伝統工芸・産業で栄えるまちづくり
- ・音楽文化が息づくまちづくり

★国文祭成果継承・発展
★次世代・後継者育成

事業概要(案)

- ①総合フェスティバル
- ②4大モチーフ発信事業
 - ・音楽が息づくまちづくり事業
 - ・人形浄瑠璃街道推進事業
 - ・阿波藍×未来形プロジェクト推進事業
 - ・阿波おどり総合フェスティバル事業
- ③国文祭成果継承事業
- ④次世代・後継者育成事業
- ⑤国際交流事業
- ⑥その他事業
 - ・分野別フェスティバル
 - ・広報・公式記録集

「あきた文化ルネサンス事業」について ～国民文化祭開催に向けて～

秋田県

地域の継続的な「賑わい」を創出していくためには、地域に根付く文化を守り育てていくとともに、新たな価値創造を図っていく、たゆまない取組が必要である。平成23年度を「文化」を再生し創造する元年と位置づけ、知事が「あきた文化ルネサンス」宣言を行いながら、「地域の文化力を高め、文化力で地域を元気に」していく集中的な取組を行うとともに、平成26年度に「国民文化祭」を開催し、秋田の元気創造を図る。

多彩な独自の伝統文化

- 男鹿なまはげ、角館祭りのやま行事、根子番楽など日本一（16）を誇る重要無形民俗文化財
- 秋田長持唄、生保内節など日本一（13）を誇る民謡全国大会
- 上檜木内の紙風船、ぼんでん祭り、太鼓など地域に根ざした多彩な文化資源

「ブンカDEゲンキプロジェクト」により、多くの県民が本県の文化が持つ力や果たす役割の大切さを再認識

若手アーティストの胎動

- 秋田市の仲小路ジャズやPMA、大館市のゼロダテなど、「音楽」や「アート」で地域を元気にしていく取組が顕著
- 秋田市には、県内外若手アーティストの作品発表の場、情報交換の拠点が形成
- 県外から戻ってきた若手作家や秋田公立美術短大卒業生などを中心とした若手作家のネットワークが形成

様々な分野における若手アーティストの活動の活発化

- 伝統芸能・各種文化財など地域に根付く文化を守り育てていく
- 若手アーティストの育成・支援を通じた地域のにぎわいの創出

知事による「あきた文化ルネサンス」宣言

地域の既存文化団体事業等の充実強化、後継者育成 → ○県芸文協の充実強化 ○芸術文化振興基金補助金

県民芸術祭・県展・民俗芸能大会

若手アーティストの作品発表の場の提供

地域の文化や人のリサーチ

あきた中央街区にぎわい創出文化プロジェクト → ○アートによるにぎわいづくり ○音楽によるにぎわいづくり

平成23年度

平成25年度

イベント

平成26年度

国民文化祭の開催

- 文化振興への取組の充実強化
- 文化の魅力アップと伝統の継承
- 人の交流によるにぎわいの創出
- 情報発信力の向上とイメージアップ